

分担金・拠出金の名称	国際連合世界食糧計画(WFP)拠出金	評価	A
拠出先の国際機関名	国際連合世界食糧計画(WFP)		
国際機関の概要	飢餓と貧困の撲滅を使命として、主として食料を通じて①自然災害や人為的災害による被災者、難民・国内避難民等に対する緊急支援、②世界の食料安全保障の推進、及び③開発途上国の経済社会開発を行っており、98カ国に386事務所を有する。WFPの事業規模は人道支援機関の中でも最大であり、食料安全保障及び栄養分野の主要な担い手であるほか、人道航空サービスや人道支援物資備蓄庫等のロジスティックス面の共通サービスを支援関係者に提供するなど、重要な役割を果たしている。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
1. (1) 成果目標:WFPへの拠出を通じて、我が国の重要外交政策の推進を促進し、我が国実施事業との相互補完性を高める 活動指標:我が国の重要外交政策(人道支援、女性支援等)への貢献、我が国民間セクターとの連携		・WFPは、我が国が直接支援を実施できない中東・アフリカ地域等の国も含め現場の最前線で活動しており、我が国の外交政策の柱の一つである人間の安全保障の実現に不可欠のパートナー。また、人道支援に関する空輸サービスや人道支援物資備蓄倉庫等のロジスティックス面で他の国際機関にない強みを有しており、エボラ出血熱への対応を含め我が国が実施する緊急援助物資供与においてもWFPのロジスティックス機能を活用するなど、人道支援の円滑な実施に貢献。 ・WFP事務局長は、「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム」や第3回国連防災世界会議等に出席しており、WFPの活動は女性支援や防災分野の協力等に大きく貢献。 ・WFPは、事業実施にあたり、日本のNGOをパートナーにするなど、我が国民間セクターとの連携に積極的。	
(2) 成果目標:WFPIにおける我が国の発言力・影響力を確保する 活動指標:執行理事会の議席確保、我が国とのハイレベルにおける意見交換の実施、日・WFP政策協議の実施		・我が国は、WFPの最高意思決定機関である執行理事会の議席(拠出順位に基づき決定)を、1996年から確保しており、WFPに対する我が国の発言力・影響力を確保している。 ・WFPの現事務局長は2012年の就任以来毎年訪日し、我が国ハイレベルとの意見交換等を行うので、我が国はこの機会を通じて、WFPIにおける我が国の影響力を確保している他、毎年行われる日・WFP政策協議や各地域事務局長、国事務所長の訪日を通じて我が国意見をWFP事業に反映させている。	
(3) 成果目標:効率的な組織・財政管理の実現 活動指標:具体的な組織運営改善措置の導入		・WFPIは、地域別、国別、分野別のパフォーマンス評価を毎年実施しており、評価において勧告された事項について、対応計画を作成の上、執行理事会等においてその履行状況を報告している。例えば、ジェンダー政策に関する評価の勧告を踏まえ、国別事業計画にジェンダー・マーカーを導入したほか、国別評価結果を踏まえ、成果測定指標の充実を図る等の改善を進めている。 ・また、インド会計検査院による外部監査の結果、WFPの財政管理は健全である旨評価されている。さらに、WFPIは組織改革にも取り組む等、組織・財政管理の効率化に努めている。	
(4) 成果目標:WFPIにおける邦人職員増強を図る 活動指標:WFPIにおける邦人職員の強化		・日本人職員数(専門職以上)は、2009年の36人から2014年には39人に微増(2003年の22人を基準とした場合、約2倍に増加)。 ・WFPIは、2014年に日本においてキャリア・セミナーを開催するなど邦人職員増強に向けて積極的な取組を行っている。	
2. PDCAサイクルの確保		①計画段階(Plan):我が国の関連政策(「経済財政運営と改革の基本方針2014について」)やWFP事業計画等に照らしつつ、予算要求。 ②実施段階(Do):予算拠出。WFP執行理事会(年3回)、日・WFP政策協議(年1回)、ハイレベルを含む協議を通じて、WFPの活動をモニタリング。 ③評価段階(Check):外部監査報告書やWFP評価室による内部評価報告書等により成果を評価。 ④フォローアップ(Act):WFP執行理事会、日・WFP政策協議等の機会を通じ、必要に応じて改善を提言。	
担当課・室名	国際協力局緊急・人道支援課		